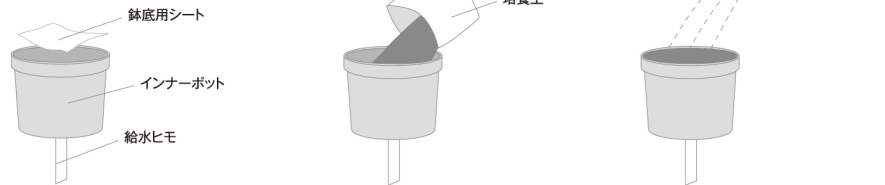


## ①インナーポットのセッティング



インナーポットの底穴を塞ぐように鉢底穴用シートを敷きます。

インナーポットに培養土を全量入れ、表面を手で軽く押してなじませます。

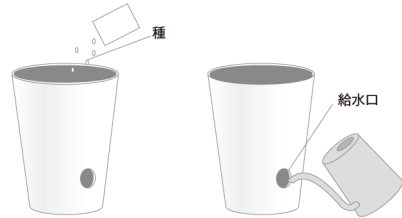
培養土全体が湿るように、ジョーロなどでやさしくたっぷりと水やりします。

## ②陶器ポットへのセッティング～播種



培養土を入れたインナーポットを陶器ポットに入れてセッティングしてください。このとき、給水ヒモが陶器ポットの底面まで正しく垂れているか確認します。

培養土の表面全体へ種を蒔きます。覆土は必要ありません。ベビーリーフの発芽・育苗適温は15～20℃です。春蒔きで加温せず屋外で播種する場合は、3月中旬頃～(関東以西の場合)が目安となります。適温に達していない時期は、暖かい室内の窓辺などで播種し発芽を促します。播種後は給水口より、水差しなどで陶器ポットに給水します。このとき給水口から水があふれないように注意してください。



## ③育苗



播種後は培養土が乾燥しないように、適宜給水口から給水します。順調にいけば播種後、約7～10日で双葉が出てきます。ベビーリーフのような比較的小さい株を育てる場合、苗を間引く必要はありません。

## ④置き場所と日々の管理



双葉の後には本葉が展開し大きく生長しはじめます。ポットは日当たりと風通しのよい屋外に配置します。春蒔きの場合、植え付け直後は地域や時期によって霜が降りることがあるため、軒下がお勧めです。鳥や虫が寄りつきやすい場所の場合は市販の防虫ネットなどを設置します。水やりは定期的にポット内部を確認し、水がないようであれば適宜給水口より水を補給してください。環境や季節によって変わりますが、5-7日程度に1回が目安です。ただし、天候や時期によって乾燥具合や植物の要求量も変化してきますから、植物や培養土の状態を確認しながら水やりします。肥料は培養土に元肥が含まれていますので、特に必要はありません。

## ⑤収穫



本葉が4-5枚展開してきたら収穫適期です。内側の葉を残し、外側の葉から数枚づつ手でちぎって収穫すると長く楽しめます。春蒔きの場合、夏場に入り温度が高くなると花芽ができてトウ立ちします。トウ立ちが始まるとそれ以降株は大きくなりませんので、その兆しが見られたら早めに収穫してください。秋蒔きの場合、生育の最低気温が5℃で霜に当たると葉が痛むため、初霜が降りるまでには収穫を終えてください。ベビーリーフは1年草のため冬越しはできません。枯死した根は培養土から引き抜いて、地域の条例や規則に沿って処分してください。

## FAQ

Q1.病虫害について  
A1.水やりのときなどに株や葉(葉の裏も)をよく観察してください。病虫害の発生を早期に発見できて、早期ほど簡単に取り除くことができます。また、変色した葉などはすぐに取り除き、株を清潔に保つことも大切です。特に重要なことは健康な株を育てることです。健康な株は病虫害に強くなります。日当たりがよく風通しのよい場所で管理してください。

Q2.用土の臭いやカビについて  
A2.培養土から有機的な臭いが発生する場合があります。気になる場合は、風通しのよい場所に置いてください。また培養土にはカビや微生物などが発生することがあります。これらは有機物をエサとしてその分解に役立ちます。カビや微生物は植物自体に悪い影響はありません。気になるようであれば培養土の表面をほぐしたりすれば軽減します。

ベビーリーフ

白菜・野沢菜・ぺかな・小松菜  
京菜・からし菜・中国紹菜  
等をミックスしました

形態	一年草	連作不可
高さ	約15cm	
播種時期	3-5月(春蒔き)/ 9-10月(秋蒔き)	
収穫期	4-6月(春蒔き)/ 10-11月(秋蒔き)	
日照	日当たりを好む	
発芽適温	15-20℃	
生育適温	15-20℃	

■セット内容

陶器ポット (半磁器製)  
種子  
インナーポット (PP製)  
給水ヒモ (ビニロンパルス・オ・リイ繊維製)  
培養土 (ビートバーキュライト・バーライト 他)  
鉢底用シート (PET製)  
説明書 (紙製)

陶器ポットに水をため、給水ヒモによって水を吸い上げます。環境や季節によって変わりますが、5-7日分程度の水を蓄えることができます。

## ■ベビーリーフの育て方



各パーツをセットしたら、培養土に播種します

定期的に給水口より水やりします。播種から7-10日くらいで発芽します。

順調に生育すれば播種から20-30日くらいで収穫できます。